

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	宗教学					授業形態	講義		
科目コード	111420	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 泰潤								
授業概要	<p>宗教と人間、国際関係について考える。学生が積極的に授業に参加できるように、グループ学習を導入する。学生が仏教やキリスト教などの宗教について、或いは、地域社会と仏教寺院、神社との関わりなどの具体的な事例研究をもとに、テーマを選び、図書館や情報処理室、Wi-Fiの使える場所で、資料研究を行い、パワーポイントにまとめ、それを発表し、質疑応答と解説を行う。</p>								
関連する科目	倫理学・哲学を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>学生が積極的に授業参加できるように、グループ学習のシステムを導入し、学生が宗教の中から一つ選び、その教義や時代背景等について、図書館やインターネット情報で資料研究を行い、それをまとめて、パワーポイントにより発表を行う。その発表について、他の学生も参加し、質疑応答を行っていく。終了後の補足説明は教員が行う。</p>								
授業計画 【第1回】	宗教とは何かについてわかりやすく解説する。								
授業計画 【第2回】	学生がグループを作り、図書館や情報処理室で、現代世界と宗教、人間と宗教の関わりについて研究調査し、プレゼンテーションの準備を開始する。								
授業計画 【第3回】	上記の研究調査をもとに、話し合いによって、テーマを絞り込んでいくと同時に、パワーポイントでの発表準備を行う。								
授業計画 【第4回】	それぞれのグループのテーマが重ならないように調整し、パワーポイントで発表スライドを仕上げていく。								
授業計画 【第5回】	仏教（禅宗・日蓮宗等）について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第6回】	仏教（真言宗・浄土真宗等）について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第7回】	キリスト教（カソリック）について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第8回】	キリスト教（プロテスタント）について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第9回】	イスラム教について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第10回】	都城の寺院について発表し、質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第11回】	都城の神社について発表し、質疑応答と解説を行う。								

授業計画【第12回】	カルト教団等について発表し、質疑応答と解説を行う。
授業計画【第13回】	アニミズムについて発表し、質疑応答と解説を行う。
授業計画【第14回】	神話や伝説の中の宗教観について発表し、質疑応答と解説を行う。
授業計画【第15回】	発表された宗教と人間、国際情勢等について総括する。
授業の到達目標	1. 地域社会と仏教・神道の関わりについて学び、宗教と日本文化、都城地域の寺院や神社の役割について理解する。 2. 視野を広げて、宗教と国際社会の関係について理解を深める。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修【予習】	1. プレゼンテーションとパワーポイント作成の準備のため、図書館で関連書物を検索読書し、必要な情報を集める。(60分程度) 2. インターネット情報を活用し、関連する情報・資料を収集し、検討を行う。(30分程度) 3. スライド作成作業を続けながら、プレゼンテーションの内容を充実させていく。(30分程度)
授業時間外の学修【復習】	1. 他のグループの行ったプレゼンテーションの問題点を検討する。(60分程度) 2. その検討をもとに、自分たちのプレゼンテーションへのフィードバックを行う。(30分程度)
課題に対するフィードバック	各グループの発表後、質疑応答の内容に即し、解説と評価を行う。
評価方法・基準	1. プレゼンテーションのスライド内容・・・・・・・・25点 2. プレゼンテーションのやりかた、質疑応答への対応・・・・・・・・25点 3. 質疑応答への参加度(質問回数・答弁回数等)・・・・・・・・50点
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	必要に応じて資料等を配布する。
備考	